

# わたなべ 栄一 新聞・かわら版 Vol.11



わたなべ 栄一  
えいいち  
無所属 64歳  
糸魚川市議会議員（1期）  
・議会運営委員会 委員  
・総務文教常任委員会 委員

## わたなべ栄一の活動報告 ～活力あるまちづくりに向けて～

街おこしは待ったなし！ しがらみのない わたなべ栄一  
R5.11月27日(月)～R5.12月14日(木)の日程で第4回市議会定例会が開催されました。行政当局に質した一般質問の一部をご報告いたします。令和6年能登半島地震において、お亡くなりになられた方々に謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されている皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

### ■(仮称)駅北子育て支援複合施設は、本当に必要なのか？

糸魚川市はR5.11月21日、定例記者懇談会において、(仮称)駅北子育て支援複合施設の整備は、計画に検討を要する部分があるとして、債務負担行為に関する議案の上程を見送ったとの報道がありました。米田市長の「まだ詰まっていない部分もあるので、検討を要するということで今回は断念した」とあるが、どの部分が詰まっていないのか、について市長は基本計画修正案の内容を議会において引き続き審議してもらいたいことと、R6年3月市議会に提案し、R9年度中の供用開始を目指したい旨の回答でした。

市長との質疑応答から、当初案の施設の概要や設計・建設・運営を民間に委託する方式は変わっていないことが判りました。R4年度の糸魚川市における合計特殊出生率は「1.40」、4月から11月末までの出生届の数は「93件」とあります。

このように多額の予算を伴う施策は、情勢を見ながら未来を予測して計画を立て、推進していくべきですが、市長は少子化対策は大きな事柄であり、子どもたちにとって必要な施設となるべく、整備していくといきたいと回答があり、話が囁み合いませんでした。背景には、屋内遊戯施設のニーズが高かったことが上げられていますが、施設だけでは全く解決できるとは思えません。中学、高校・大学へ進学するにつれて、それぞれの場面で人的、経済的な支援を最優先すべきと考えます。利用者が減り、負担だけが毎年加わるハコモノに投資するのは無駄となり、私は賛成する気にはなれません。

### ■柵口温泉権現荘の譲渡の進捗状況はどうなっているか？

R5.4月より柵口温泉権現荘が、市直営の日帰り温泉のみの営業となりました。10月末時点の売り上げは、704万円でこのままの推移でいくと年間1,200万円程度となり、見込み予算額の1,800万円には及ばないというお粗末な回答でした。

そもそも民間でいうところの競争意識やコスト意識がなく、職を失うということがないためと考えられ、本当に「すいません」で済むことなら、いい世の中だと思います。直営で続けた場合(日帰り温泉のみ10年間継続、4億円)と譲渡し

糸魚川市の総人口  
R6.2月1日現在 38,759人  
(-230人 / R5年11月より減、  
前年同月より-938人減)

た場合(日帰り温泉・宿泊、2.5億円)との試算で、それぞれ多額の負担額が生じることや、黒字体质にならない要因は何であると捉えているかについて市長は、健康福祉施策として必要な施設と捉えており、一定の負担は必要と考えている旨の回答でしたが、負担額を減らすという意識が希薄で、補助金等を活用して造った建物は、結局は市民全体の負担を長きにわたってかけてしまう結果となり、ほかのハコモノについても戒めしてもらいたいと思います。

また、譲渡についての具体的なことは、調査・交渉中を理由に明確な回答は出てきませんでしたが、相手の言い値をそのままのむことはあってはならないし、経営状況等の信用調査などを優先し、前のめりに交渉を進めていく必要性はないと考えます。

### ■糸魚川市スキー場事業について、今後どう考える？

地球温暖化による雪不足や若年層の余暇の多様化などの影響で、当市のスキー事業を取り巻く環境にも変化が表れてきていると考えます。糸魚川市スキー場管理活用等調査報告をどのように捉えているかの質問に市長は、市内スキー場の在り方について検討を進める中で、基礎資料として活用していく旨の答弁がありました。索道輸送人員の推移では、10年前と比べて、シーサイドバレーでは43万人から27万人、シャルマン火打は25万人から20万人に減少、特にシーサイドバレーの減少が16万人も減っていることについて、担当課長は全国的な落ち込み状況であるとの認識で、何か人ごとのような感じの答弁でした。

加えて、同スキー場は雪不足で営業日数が少なくなっていると思われ、今後の見通しについて市長は、積雪状況等により営業日数が少なくなることを懸念していると回答。また、2021から2022年で、両スキー場とも市からの指定管理料の援助がなければ、大幅な赤字と書いてあり、それぞれ負担額が1億円以上となっています。スケジュールには、指定管理期間が満了となる令和7年度中に方針を固めるとあり、どのようなことが考えられるのかについて、市長はスキー場の必要性や費用対効果を考慮し、総合的に判断していく旨の回答でした。

同調査報告には厳しい見通しも出ており、オフシーズンの活用方法を見出せなければ、存続か廃止かを含めた判断が必要と思われます。

# 新春イベント、リターンズ!! ~ 竹のからかい&胴上げ&祝第90回 早川スキー大会 ~

■1月15日(月)国の重要無形民俗文化財に指定されている「青海の竹のからかい」が、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに行われるということで、青海駅前本町通りへ初めて見に行きました。江戸時代から続く全国的に珍しい小正月行事で、雪が舞い散る肌寒い天候でしたが、顔に隈取りをした東西の若い衆が、2本の竹を力を込めて引き合い、豊漁・豊作を占いました。見ている私も力が入りました。終了後、「さいの神焼き」が青海浜で行われ、年中の災厄をはらいました。



■1月17日(水)の夜、能生地域の藤崎に向かいました。こちらも4ぶりに当市の指定無形民俗文化財「藤崎観音堂裸胴上げ」があると聞き、初めて行きました。「メッケター」とか「サッシャゲー」と呼びながら堂内を練り歩き、「ヨイヤーサー」の掛け声に合わせて、厄年の男性を天井に向かって放り上げることで厄を落とし、無病息災をお祈りする、江戸時代より伝わる行事のことです。堂内は、迫力と熱気がこもり、天井の板がズレていることにも驚きました。



■2月4日(日)焼山の里ふれあいセンター周辺を会場にして、第90回目となる「早川スキー大会」が2年ぶりに開催され、クロスカントリー競技が行われました。当大会の歴史は深く、早川スキークラブが大正9年(1920)頃に結成され、第1回大会の開催から今日に至っていることに感銘を受けました。今大会は下早川小学校・児童66名がエントリーされ、競技終了後には楽しいレクリエーションもありました。雪不足で練習が思うように出来なかつかも知れませんが、思い出や記録が刻まれる本大会のスポーツを通じて、「一歩前へ」と目標に向かって成長したことと思います。



気象条件も良く、怪我なく無事に終了し、今大会をサポートして頂いた皆様に感謝いたします。



## ➤ report = リポート 令和6年能登半島地震被災状況および(仮称)駅北子育て支援複合施設の屋内遊戯場の規模の検討

1月29日(月)総務文教常任委員会において、上記の所管事項調査を行いました。(仮称)駅北子育て支援複合施設の屋内遊戯(450m<sup>2</sup>)の大体の大きさを把握するため、「ビーチホールまがたま」の多目的ホール(415m<sup>2</sup>)を利用して、44名の園児が集まり様子を見ました。どのような大きさの遊具を設置するのか不明ですが、感覚的にかなり広すぎるごとく、出生数も令和2年度以降、200人を割り込んでいる状況(R4.176人、R5.130人)で、普段通りに多くの児童が

利用してもらえるのか、以前より増して危惧しています。市内被災状況については、当市教育相談センター、京ヶ峰地区、中央地区の順で視察しました。当相談センターは、床が隆起して継続使用するには困難と思われ、修繕工法等を精査して対応を検討することです。京ヶ峰地区と中央地区については、造成ブロックおよび液状化等による住宅敷地の損壊に対する支援が必要と考えます。被災した家屋・宅地を個人負担で賄うことが、非常に厳しい理由からです。



年の初め、団らんやゆったりと迎えるはずの元旦に、能登では大変な震災が起こりました。当市も今までにない大きな揺れ(震度5強)が襲い、被災された方がおいでです。また、国・県道の通行区域、家屋の屋根瓦や壁、タイル等に損傷が数多く発生しています。今回の震災に関しては、道路や水道の復旧の遅れ、それに伴う避難者の方のご苦労が目立って報道されており、これを教訓として、本市でもライフラインの保守や地

区ごとの備蓄、安全な避難ルートの確保など、課題が見えてきます。効果が薄く、毎年維持費がかさむハコモノ建設よりも、直接市民の生命を守る施策に予算を傾けるように、市当局へ働きかけて行く所存です。しばらく続く余震にも十分お気をつけてください。市政に関して皆様の日頃お感じになった疑問やご意見をお寄せください。ご負担を強いることはなく、匿名でも構いません。どうぞよろしくお願ひいたします。



### ■議員報酬：わたなべ栄一のケース

※12月 期末手当の計算は、月額 300,000 × 1.75ヶ月分 = 525,000

525,000 × 15% = 78,750(15%は当市条例に基づく手当) 525,000 + 78,750 = 603,750円

	支給額	所得税	親睦会*	委員会積立	控除額	差引支給額	日数	日当	車賃	費用弁償	総支給額
23.1月～10月_報酬	3,569,250	711,361	25,000	60,000	796,361	2,772,889	43	57,400	15,050	72,450	2,845,339
23.11_報酬_11/21	300,000	53,700	7,000	10,000	70,700	229,300	2	2,800	700	3,500	232,800
23.12 期末_12/ 8	603,750	184,928			184,928	418,822					418,822
23.12 報酬_12/21	300,000	53,700	500	10,000	64,200	235,800	4	5,600	1,400	7,000	242,800
R5 年度_合計額	4,773,000	1,003,689	32,500	80,000	1,116,189	3,656,811	49	65,800	17,150	82,950	3,739,761
	支給額	所得税	親睦会*	委員会積立	控除額	差引支給額	日数	日当	車賃	費用弁償	総支給額
24.1 報酬_1/19	300,000	53,700	13,030	10,000	76,730	223,270	7	9,800	2,450	12,250	235,520
合 計 額	300,000	53,700	13,030	10,000	76,730	223,270	7	9,800	2,450	12,250	235,520

\*毎日当は1,400円/日、車賃は350円/日ですが、当人が出席した委員会等

が必ずしも担当の対象となるものではなく、日数と金額は一致いたしません。

\*1月 期初会計: 10/20、糸魚川市・朝日町議会議員懇親会議議員会会費 6,500円

\*1月 親睦会会費: 12/14、議会議員会・理事事務部議長会と懇親会会費 6,500円

\*1月 親睦会内訳: 12/21、上越三市議会議員合同研修会(上越市・糸魚川市・妙高市)

意見交換会費 6,000円

## あなたの声を わたなべ栄一へ

■市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せください。

住所 :〒941-0026 糸魚川市大字田屋 634番地

TEL/FAX : 025-555-3697(サロウクナン) 携帯 : 090-9836-5234



E-mail : w.watanabe3697@outlook.jp

E-mail : w.watanabe3697@gmail.com

■第1回市議会定例会は、  
2/19(月)～3/15(金)  
の26日間の予定です。